



いわてアートサポートセンター

風のスタジオ情報

カンザスハリケーン番外公演

『水曜小台風』

日程：～3月24日まで毎週水曜日

※12月30日を除く。

上演 20:00～21:00 (開場 30分前)

毎回2作品ずつ上演

場所：いわてアートサポートセンター 風のアトリエ

料金：投げ銭制 (100円以上)

問合せ: TEL:090-4318-3623 MAIL:kansash1021@gmail.com

岩手大学劇団かつぱ 2020年冬期公演

『プラスチックレモン』

日程：12月5日(土) 13:00～/18:00～

6日(日) 11:00～/15:00～

※開場は20分前

場所：いわてアートサポートセンター 風のスタジオ

料金：前売 一般1,000円 学生800円 高校生以下500円

※当日300円増

問合せ: TEL:080-9338-6522(制作部)

街なかアーツライブ 最強の一人芝居フェスティバル

『INDEPENDENT in 盛岡』

a 『ナナメ45度のユートピア』

【出演】相良佳央(ライナー・ノーツ) × 【脚本・演出】角館信哉(ライナー・ノーツ)

b 『プリンアラモード失踪物語』【出演・脚本】佐藤由希 × 【演出】佐藤貴紀

c 『ザ・プレイヤー』

【出演】高橋響子(演劇ユニットせのび) × 【脚本・演出】村田青葉(演劇ユニットせのび)

d 『よあけのみち』【出演・脚本・演出】藤原瑞基(劇団ちりぢり)

e 『クローゼット』

【出演・演出】渡辺陽(えずこシアター) × 【脚本・演出】x 梨ライヒ(劇団鼠)

f 『たすけてわたしのスーパーガール!』

【出演】もりとみ舞 × 【脚本・演出】竜崎 だいち(羊とドラコ) [招聘作品]
from 岐阜 with 大阪

日程：12月24日(木) 19:30～ bda

25日(金) 19:30～ cef

26日(土) 15:00～ cef / 17:30～ bda

27日(日) 11:00～ bda / 13:30～ cef

※各日初回は45分前受付開始、開演30分前に開場。

※1作品の上演時間は約30分です。

場所：いわてアートサポートセンター 風のスタジオ

料金：通し券) 前売 一般1,500円 学生1,200円

1回券) 前売 一般1,000円 学生700円

※当日券はそれぞれ300円増、ご予約状況で販売しない場合有。

※学生は当日窓口で学生証をご提示ください。

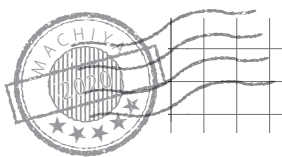
予約：メール mro@independent-fes.com

お名前、ご来場日時、チケット種類と枚数、お電話番号を

お伝えください。ご精算は当日受付窓口で行います。

問合せ: いわてアートサポートセンター 風のスタジオ

TEL:019-604-9020 MAIL:kaze@iwate-arts.jp



もりおか町家物語館

オラホの盛岡弁塾

盛岡のシンガーソングライター田口友善をゲストに、各世代が盛岡弁に親しむことができるイベントをにぎやかに開催します。

日時 令和3年1月16日(土)

開演 14:00 (開場 13:40)

会場 もりおか町家物語館 浜藤ホール

定員 80名

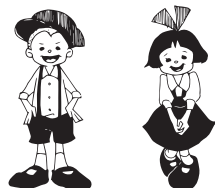
料金 前売 1,000円(当日 1,200円)

販売開始 12月7日(月) 10:00～

プレイガイド プラザおでっ／もりおか町家物語

問合せ TEL:019-654-2911 もりおか町家物語館

ぜひ、
おでっくなんせ



発行者 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

【本部】

〒020-0874 盛岡市南大通1丁目15-7 南大通ビル3階

TEL (019)656-8145 FAX (019)656-8146

E-mail info@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp

本部 HP



【肴町事務所・風のスタジオ】

〒020-0878 盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階

TEL (019)604-9020 FAX (019)604-9021

E-mail kaze@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp

〈窓口営業時間〉火・水・金 10:00～18:30 木・土 10:00～17:00

〈施設利用可能時間〉9:30～21:30

風のスタジオ HP



もりおか町家物語館 HP

【もりおか町家物語館】

〒020-0827 岩手県盛岡市鉾屋町10-8

TEL (019)654-2911 FAX (019)654-2913

E-mail machiya@iwate-arts.jp URL http://machiya.iwate-arts.jp

〈開館時間〉9:00～19:00 (最終入館 18:30) ※浜藤ホールのみ利用時は21:30まで

〈休館日〉毎月第4火曜(休日の場合はその翌日) 年末年始 12/29～1/3

〈入館料〉無料 ※一部企画展は有料の場合があります。



12

もりおか町家・風の通信



年末年始 休館日のお知らせ

12月29日(火) から 1月3日(日)



いわてアートサポートセンター

アーツライブいわて 街なかアーツライブ 『もりおか版 文士朗読劇』

演出：藤原正教
 出演：大平しおり、北上秋彦、澤口たまみ、道又力（12日出演）
 そのだつくし、平谷美樹、南海遊、澤口たまみ（13日出演）
 アナウンサー：江幡平三郎（IBC岩手放送）
 滝澤悠希（岩手めんこいテレビ）
 石橋美希（岩手めんこいテレビ）←※13日のみ出演
 生演奏：石澤由男
 日時：12月12日（土）・13日（日）
 14:00開演（13:40開場）
 場所：もりおか町家物語館 浜藤ホール
 料金：前売2,000円（当日2,500円）
 プレイガイド：いわてアートサポートセンター 風のスタジオ
 もりおか町家物語館
 プラザおでって
 問合せ：NPO法人いわてアートサポートセンター
 TEL:019-656-8145(電話予約可 月～金 9:00～18:00)

主催：文化庁、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、
 アーツライブいわて実行委員会、
 NPO法人いわてアートサポートセンター
 共催：盛岡市
 後援：岩手県、(公財)岩手県文化振興事業団、岩手県芸術文化協
 会、岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、
 毎日新聞盛岡支局、産経新聞盛岡支局、河北新報社、盛岡タ
 イムス社、岩手日日新聞社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、
 テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手

アーツライブいわて 街なかアーツライブ ～頑張れ、盛岡芸妓～

唄、踊り、お座敷芸…。盛岡芸妓の至極の芸を、より近くで、より気軽に、
 リーズナブルに、楽しんでみませんか？

日時：12月19日（土）13:30開演（開場13:10）
 会場：もりおか町家物語館 浜藤ホール
 料金：1,000円（前売・当日共）
 出演：芸妓7名総揚げ、畑中美耶子（司会）、
 坂田裕一（盛岡芸妓の歴史解説）、
 特別ゲスト
 プレイガイド：プラザおでって、もりおか町家物語館
 問合せ：NPO法人いわてアートサポートセンター
 TEL：019-656-8145（月～金 9:00～18:00）



もりおか町家物語館

MACHYART2020 エニナルモリオカ

盛岡を表現した絵画・版画・写真作品を展示中です。
 ぜひ、ご覧ください。

展示期間 11月20日（金）～12月6日（日）
 会場 もりおか町家物語館 母屋
 （母屋・文庫蔵1階・他） **入場無料**

問合せ TEL:019-654-2911 もりおか町家物語館



鉤屋町・大慈寺町界隈 おもいで写真展

鉤屋町・大慈寺町界隈で、明治～昭和頃に撮影した思い出の写真を
 展示します。歴史を感じることができる写真をぜひ、ご覧ください。

展示期間 令和3年1月16日（土）～3月7日（日）
 会場 もりおか町家物語館 文庫蔵1階 **入場無料**

問合せ TEL：019-654-2911 もりおか町家物語館

カフェ DOMA

シム
CYM 展

—絵画と手芸の作品展—
共通テーマ「冬とぬくぬく」

12月4日（金）～27日（日）
（最終日16:00まで）



岩手大学芸美卒業 高田妹伊、杉浦悠理子、川村千紘による
「冬ぬくぬく」をテーマにした絵画と手芸の作品展です。

<作品展とのコラボメニュー> **ぬくぬくココア**

営業時間 / 10:30—16:00 ※(火)(水)はドリンクのみ提供
 カフェの営業時間外も、施設開館中は見学可能です。
 (12月22日、29日～1月3日は休館日)
 臨時休業の場合もございます。営業時間はホームページ等でご確認ください。

リレーコラム No.53
7人の文士が自作を読み語る

12月12、13の両日、浜藤ホールで行われる
 公演タイトルは「もりおか版 文士朗読劇」と
 いう。「朗読」ではなく「朗読劇」である。「朗読劇」
 と「朗読」は、どこが違うのか。

「朗読劇」とは、従来の「朗読」スタイルに演
 劇的要素アレコレを取り入れた演劇スタイルで
 ある。

盛岡劇場の芸術監督も務めた故・山元清多さ
 ん（劇団『黒テント』芸術監督、劇作・演出家）
 から「物語る演劇」という演劇スタイルを教わっ
 た。そこから「朗読」を「盛岡版・朗読劇」として、
 さまざまな演劇スタイルを模索しながら続けて
 きた。

今回、新型コロナで恒例の「盛岡文士劇」公
 演が中止になった。

そこで7人の文士が、自作の短編を持ち寄っ
 て「朗読劇」をしようということになった。

「銀河鉄道に乗って旅する猫」、「女房殺しを企
 む男」、「天井に棲む魔物の話」、「現代版・遠野
 物語」—など。

「ヘェ!」「ホォー」という個性的な作品が並
 んだ。

毎夜、「読んで、読んで」とお話をせがむ枕元
 の子どもに、この7作を日替わりに語りかけ
 ると、目がキラキラ、ランランとしてしまい、寝
 ることを忘れてしまうに違いない。

7人の作家が揃って自作を読み語るというの
 は、これまで聞いたことがない。きっと全国初で、
 これこそ「文学の国・岩手」だからこそ出来る
 公演だと思う。

作家は、自作であるので何を「言いたい」、「聴
 かせたい」というツボを、おさえている。だから、
 読み聞かせがうまい。

今回サポートするアナウンサー3人も芝居心
 がある。

当日、会場でお楽しみ下さい。

演出 藤原正教